

9月に入りました。収穫の季節の到来です。「神の国の体験と献身」を掲げた一年ですが、その実際はどうでしょうか。残り1/3の日々に証しが与えられますように。

心が鈍くならないように

私たちの心が鈍る時は、二つの原因があると思います。一つは体調が優れない肉体的な弱さを覚える時です。気圧の変化や季節の変わり目など、不可抗力で心まで重苦しくなってしまう時があります。そのような時は、ジタバタせずに、休養をとることが一番です。身体が要求する美味しいものを食べて、元気になりましょう。しかし、もう一つの原因は、何をすれば良いか分からないという、生きる目的を見失ってしまった時です。原因は様々ですが、人間関係につまずいたり、期待していた仕事や試験が失敗したり、家庭がうまくいかなかったりということが多くいでしょう。

逃げることは、悪いことではありません。終末預言の中で、イエス様も「大いなる苦しみの時代には、山に逃げなさい」と警告されました。しかし、大切なことは、逃げる手段と方向です。本当の避難には犠牲が伴います。お酒やギャンブルに現実逃避すること、ただ漠然と心配してモヤモヤすることは、逃げ道が間違っています。

現実逃避は、私たちの身近な体験です。お酒の他にも、スマホ依存、SNS中毒があります。つまみ食いは蜜の味ですし、テレビやNetflixは時間泥棒になります。また自ら心配を引き寄せるようなループ思考は、やめたくても止まりません。

イエス様の四つの種の例え話を思い出してください。三番目の種は、いばらの中に落ちました。様々な誘惑や思い煩いが、神の言葉の成長を妨げ、枯らしてしまいました。私たちも今朝、心の雑草を抜いて、神の言葉に光を当てなければなりません。

オリーブ畑で祈ろう

私たちの心に蒔かれた神の言葉は、豊かな実を結ぶ恵みの種です。誘惑に負けて心が鈍くなってしまっても、あきらめることはありません。まだ、間に合うのです！

神様は、気前の良いお方です。昨日も今日も、明日も、惜しみなく種を撒き続けてくださるのは、他ならならぬ天の父なのです。神の子であるイエス様は、その事をよくご存知で、最後のエルサレムでの日々を、オリーブ畑で祈りに費やされました。

現実的には、過越の祭の真っ最中で聖地エルサレムには宿がとれなかったという事情がありますが、霊的には、人里離れた場所で祈りに過ごされたデボーションの姿がここにあります。奇しくも今晚の夕拝は、赤岩先生が、主の祈りの「誘惑に打ち勝つ」というメッセージを取り継がれます。神様が、ことさらに私たちを励ましておられることを思います。今年のバイブルキャンプと夏期聖会の恵みのお土産は、聖書通読とデボーションの確立でした。私も何とか、聖書日課を続けています！毎日の目的が明確になり、その恵みは計り知れません。最高の逃れ場、オリーブ畑で祈りましょう！